

SETUP / 事前準備

事前セットアップガイド

Claude Code を当日動かせる状態にする

この研修では、VSCode の拡張機能として動く AI コーディングツール Claude Code を使います。準備の到達点は、教材サイトからダウンロードした演習素材のフォルダを VSCode で開き、その場所で Claude Code のパネルを起動して、フォルダの中身を聞くと返答が返ってくる状態です。ターミナルでコマンドを打つ作業はありません。所要時間は30～40分です。

📅 2026年8月17日(月) 9:00 - 18:00 ⌚ 準備の所要時間 30～40分（8月16日までに完了）

💻 オンライン(Zoom)・Windows

準備は5ステップです

10分**VSCode と Python**

コードを読み書きする画面と、演習を動かす実行環境を入れます。

5分**Claude Code 拡張**

VSCode の拡張機能ビューから Anthropic 製の拡張を入れます。

5分**サインイン**

会社から案内されたアカウントでログインします。

5分**演習素材を開く**

教材サイトから演習素材の ZIP をダウンロードして展開し、そのフォルダを VSCode で開きます。

5分

動作確認と Zoom

フォルダの中身を聞いて返答を確かめ、Zoom をテストします。

SETUP 01

このガイドの読み方と到達点

皆さまは GitHub Copilot をお使いの開発エンジニアと伺っています。Copilot がエディタの中で書きかけのコードを補完するのに対し、Claude Code はフォルダ全体を読んだうえで、複数のファイルにまたがる変更を提案します。本研修では VSCode の拡張機能として使うため、操作の起点は Copilot と同じくエディタの中です。

01 準備が終わった状態

VSCode が整っている

VSCode が起動し、Claude Code 拡張が入っていて、サインインが済んでいます。

演習素材が開ける

ダウンロードした ZIP を展開したフォルダを VSCode で開けます。

返答が返ってくる

そのフォルダで Claude Code のパネルを開き、中身を聞くと日本語で返ってきます。

ターミナルの操作はありません

Claude Code はコマンドライン版もありますが、本研修では VSCode の拡張機能を使います。フォルダの移動やコマンドの入力は不要で、画面の操作だけで準備が終わります。

02 完了期限と所要時間

- ✔ 完了期限は研修前日の2026年8月16日(日)です。通しで30〜40分を見込んでください
- ✔ VSCode と Python のインストールに管理者権限が必要になる場合があります。社用PCで権限がない場合は情報システム部門への申請に日数がかかるため、早めにご確認ください
- ✔ どこかで詰まったら、そこで止めて研修窓口までご連絡ください。当日の開始前にも接続確認の時間を設けています

03 本ガイドが前提とする環境

項目	内容
OS	Windows 10 または Windows 11（64bit）
エディタ	VSCode 1.94.0 以降。Claude Code 拡張が必要とするバージョンです
実行環境	Python 3.10 以上。演習のプログラムを動かすために使います
メモリ	8GB 以上（16GB 推奨）
ストレージ空き	10GB 以上
権限	ソフトと VSCode 拡張機能をインストールできる権限

SOURCES

[Claude Code 公式: Use Claude Code in VS Code](#)
(前提バージョン・導入手順)

SETUP 02

貴社にご確認いただきたい事項

受講者ご本人の操作だけでは解決できない項目です。社内ポリシーの確認や申請が必要になるため、研修の10日前を目安に情報システム部門へご確認ください。ここが通っていないと、当日にインストールもサインインもできず、演習が始められません。

01 Claude のアカウント発行

Claude Code は Pro / Max / Team / Enterprise のいずれかの契約、または Claude Console のアカウントが必要です。無料プランでは利用できません。本研修は貴社手配の Team プランを前提としています。受講者30名分のアカウントが研修日までに発行され、各受講者がサインインできる状態にしてください。

- ☑ 受講者へ、サインインに使うメールアドレスと、組織またはワークスペースの選択肢を事前にお伝えください

🔒 アカウント発行が研修前日までに間に合うかを、逆算してご確認ください

02 ネットワークの許可ドメイン

社内プロキシやファイアウォールがある場合、次のドメインへの HTTPS 通信を許可してください。api.anthropic.com だけでは足りません。サインインは claude.ai・claude.com・platform.claude.com を経由します。いずれかが塞がっていると、拡張機能は入ってもログインで止まります。

ドメイン	用途	塞がれると起きること
api.anthropic.com	Claude API への問い合わせ	プロンプトを送っても返答が返らない
claude.ai	アカウント認証	サインインが完了しない
claude.com	サインイン時にブラウザで開くページ	ログイン画面が表示されない
platform.claude.com	認証トークンの発行と更新	サインインが完了しない
marketplace.visualstudio.com	VSCode 拡張機能の取得	拡張機能を検索・インストールできない
downloads.claude.ai	拡張機能を使う実行ファイルの更新	更新が取得できない

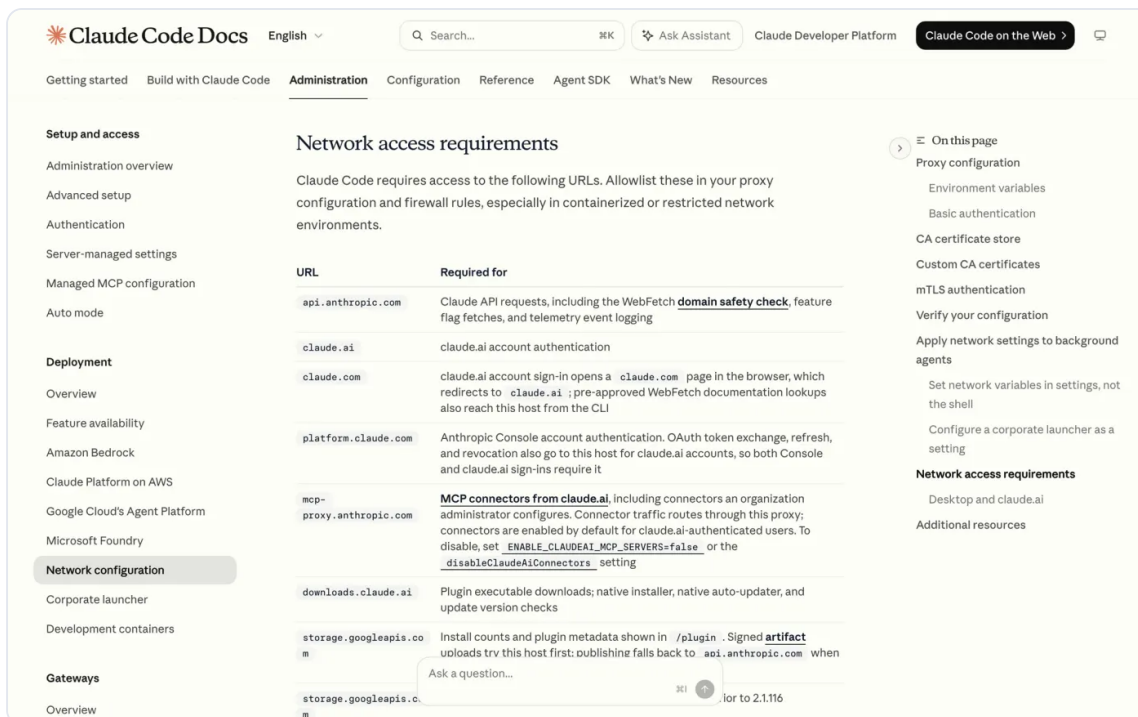


図1：Claude Code 公式ドキュメントに掲載されている許可対象ドメインの一覧

TLS 検査型のプロキシをお使いの場合

通信内容を復号して検査する製品を経由している場合、社内の証明書が OS の証明書ストアに入っていれば追加設定なしで動作します。証明書を個別に指定する必要があるときは `NODE_EXTRA_CA_CERTS` に証明書ファイルのパスを設定します。プロキシ経由の場合は `HTTPS_PROXY` の設定が必要になることがあります。なお SOCKS プロキシには対応していません。

03 受講者PCの権限

- ✔️ VSCode 本体と Python のインストール許可
- ✔️ VSCode 拡張機能のインストール許可。社内ホワイトリスト方式の場合は、Anthropic 製の `anthropic.claude-code` について事前申請が必要になります
- ✔️ 拡張機能は VSCode のユーザー領域に入るため管理者権限は必須ではありませんが、社内ポリシーで導入が制限されている場合は申請が必要です

04 Zoom の利用

講師との URL 共有、受講者の手元画面の確認、ファイルの受け渡しに Web 会議ツールを使います。チャットへのファイル添付やリンク共有が遮断されていると、教材の配布や質問対

応に支障が出ます。画面共有とチャットが利用できるかをご確認ください。

SOURCES

[Claude Code 公式: Enterprise network configuration](#)（許可ドメイン・プロキシ・証明書）

[Claude 公式: プランと料金](#)

SETUP 03

必要なもの一覧

準備を始める前に、手元にそろっているかを確認してください。足りないものがあれば、この段階で調達や申請を進めておくとの後の手順で止まりません。

分類	内容	用意する人
PC	Windows 10 または 11 の開発PC。メモリ8GB以上（16GB推奨）、ストレージ空き10GB以上	受講者
アカウント	Claude のアカウント（Team プラン）。サインインに使うメールアドレス	貴社
ソフト	VSCode 1.94.0 以降、Python 3.10 以上、Claude Code 拡張	受講者
配布物	演習素材の ZIP（教材サイトからダウンロード）	Givery が用意し、教材サイトに掲載
通信	SETUP 02 のドメインへ HTTPS 接続できるネットワーク	貴社
Web会議	Zoom（音声が使える環境。マイクは任意）	受講者

コマンドライン版のインストールは不要です

Claude Code にはターミナルで動かすコマンドライン版もありますが、本研修では使いません。VSCode 拡張は動作に必要な実行ファイルを自前で持っているため、別途インストールする作業はありません。Node.js も不要です。

SETUP 04

準備の全体像と進める順番

上から順に進めてください。前の手順が終わっていないと次に進めない箇所があるため、飛ばさずに進めるのが結局は早道です。

01 全体の流れ



02 研修までのスケジュール

タイミング	やること	担当
研修10日前まで	SETUP 02 の確認事項（アカウント発行・ネットワーク・権限）の社内確認	貴社
研修7日前	本ガイドと教材サイトのURLを受講者へ案内（教材と演習素材は各自でダウンロード）	貴社
研修3日前まで	本ガイドの SETUP 05～12 を各自で実施し、 チェックリスト まで完了	受講者

タイミング	やること	担当
研修前日まで	詰まった箇所を研修窓口へ連絡し、当日までに解消	受講者・Givery
当日 開始15分前	Zoom へ接続し、講師と一緒に最終確認	受講者・講師

3日前を目安にしている理由

詰まりやすいのは、社内ポリシーによる拡張機能の制限とネットワークの遮断です。どちらも情報システム部門への申請が必要で、当日の朝には間に合いません。3日前までに一度通して試していたくと、対応の時間が確保できます。

SETUP 05

VSCode のインストール

Claude Code は VSCode の中で動きます。すでにお使いの方は、バージョンが 1.94.0 以降かどうかだけご確認ください。古いままだと拡張機能が動作しません。

01 インストールする

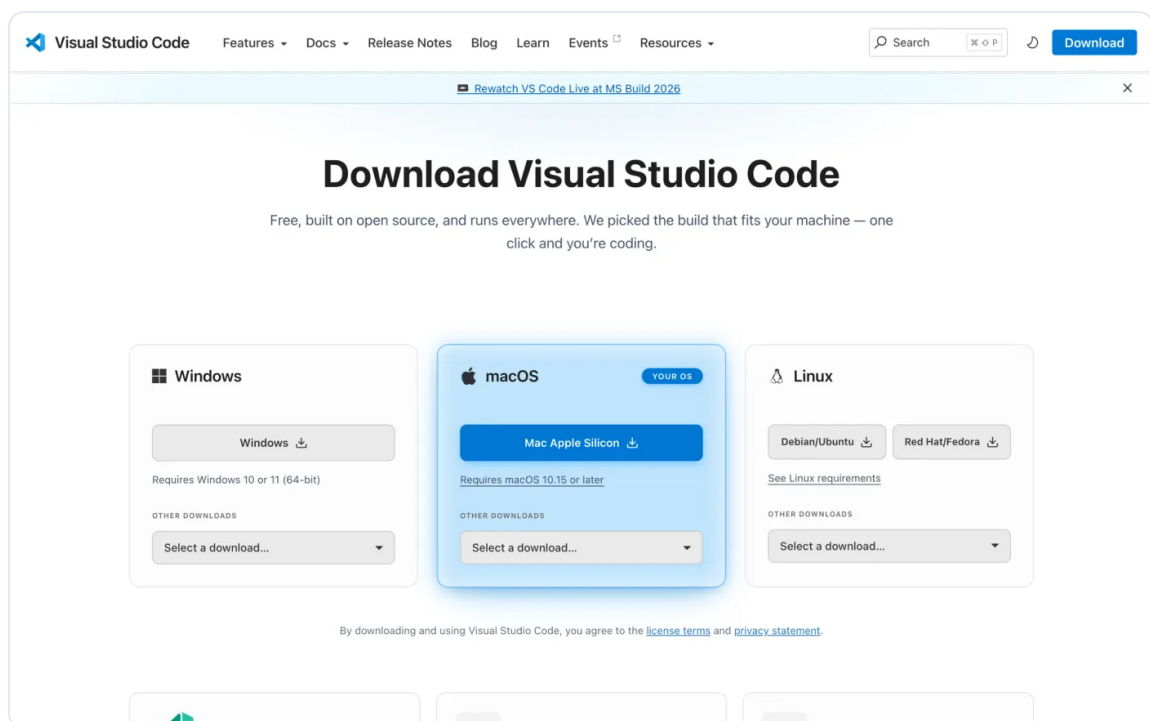


図2：VSCode のダウンロードページ。左の Windows の枠にあるボタンを押します

STEP**VSCode の導入（約5分）****1 ダウンロードページを開きます**

ブラウザで code.visualstudio.com/download を開きます。OS ごとのダウンロード枠が横に並んでいます。

2 左の「Windows」ボタンを押します

「Requires Windows 10 or 11 (64-bit)」と書かれている枠です。インストーラのダウンロードが始まります。

3 インストーラを実行します

ダウンロードした VSCodeUserSetup-x64-*.exe をダブルクリックし、画面の指示に従って進めます。途中の「追加タスクの選択」では、既定のまま進んで構いません。

4 起動してバージョンを確認します

VSCode を起動し、メニューの「ヘルプ > バージョン情報」を開きます。Version が 1.94.0 以降であることを確認してください。古い場合は「ヘルプ > 更新の確認」から更新します。

SETUP 06

Python のインストール

当日の演習では、集計ツールやレポート出力など Python の小さな業務プログラムを題材にします。Claude Code が書いたプログラムを実際に動かして結果を確かめるため、Python が必要です。Python 自体を書けなくても進められます。

01 すでに入っているかを確認する

スタートメニューで「python」と検索してください。「Python 3.x」というアプリが出てくれば導入済みです。この章は飛ばして SETUP 07 へ進んでください。何も出てこない場合は、次の手順で導入します。

02 インストールする

STEP

Python の導入（約5分）

1 ダウンロードページを開きます

ブラウザで python.org/downloads を開きます。「Download the latest version for Windows」と表示されます。

2 インストーラを取得します

「Or get the standalone installer for Python 3.14.6」の青いリンクを押してください。黄色い「Download Python install manager」ボタンではなく、こちらの単体インストーラを使います。手順が短く、次の手順3のチェックボックスが確実に出るためです。

3 「Add python.exe to PATH」にチェックを入れます

ダウンロードした python-3.14.6-amd64.exe を実行すると、最初の画面の下部にチェックボックスが2つ並びます。「Add python.exe to PATH」に必ずチェックを入れてください。ここを入れ忘れると、Claude Code から Python を呼び出せません。

4 「Install Now」を押します

そのまま「Install Now」を押します。完了画面が出たら「Close」で閉じてください。



図3：Python のダウンロードページ。黄色いボタンではなく「Or get the standalone installer for」の青いリンクを使います

バージョンについて

演習で使うのは 3.10 以上です。ページに表示される最新版で問題ありません。すでに 3.10 以上が入っている場合は、入れ直す必要はありません。

チェックを入れ忘れたとき

もう一度インストーラを実行すると「Modify」の画面が出ます。いったん「Uninstall」してから、手順3のチェックを入れて入れ直すのが確実です。

SOURCES

[Python 公式サイト ダウンロード](#)

Claude Code 拡張の導入

VSCode の拡張機能ビューから導入します。名前の似た拡張が多数並ぶため、発行元が Anthropic であることを必ず確認してください。

01 拡張機能を入れる

STEP 拡張機能の導入（約5分）

1 拡張機能ビューを開きます

VSCode で `Ctrl` + `Shift` + `X` を押します。画面の左側に「拡張機能: マーケットプレイス」が開きます。

2 「claude code」で検索します

上部の検索欄に `claude code` と入力します。似た名前の拡張がいくつも並びます。

3 発行元が Anthropic のものを選びます

「Claude Code for VS Code」という名前で、その下に青いチェックマーク付きで **Anthropic** と表示されているものが正しい拡張です。「Claude Code Assistant」「Chat for Claude Code」などは第三者が作った別の拡張ですので選ばないでください。

4 「インストール」を押します

青い「インストール」ボタンを押します。完了すると、ボタンの表示が「無効にする」「アンインストール」に変わります。

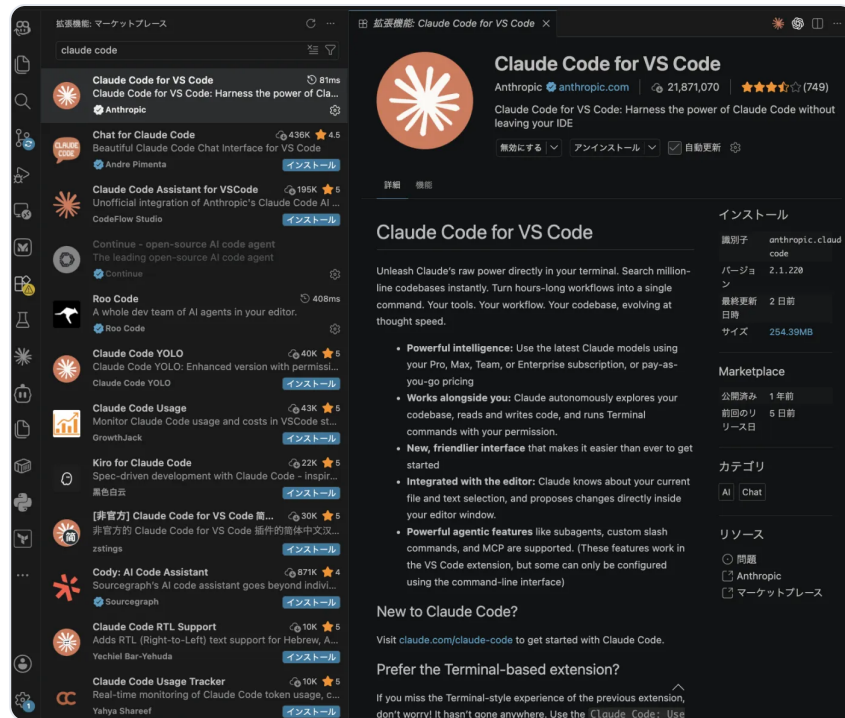


図4：拡張機能ビューで「Claude Code」を検索した画面。発行元が Anthropic の「Claude Code for VS Code」を選びます（画像は導入済みの状態）

02 パネルを開く

導入すると、Claude Code を開く入口がいくつか増えます。どれを使っても構いません。

- ☑ エディタ右上の Claude Code アイコン。ファイルを開いているときに表示されます
- ☑ 画面左端のアクティビティバーにある Claude Code のアイコン
- ☑ 画面右下のステータスバーにある「Claude Code」の表示。ファイルを開いていなくても使えます
- ☑ **Ctrl + Shift + P** でコマンドパレットを開き、Claude Code と入力して選ぶ

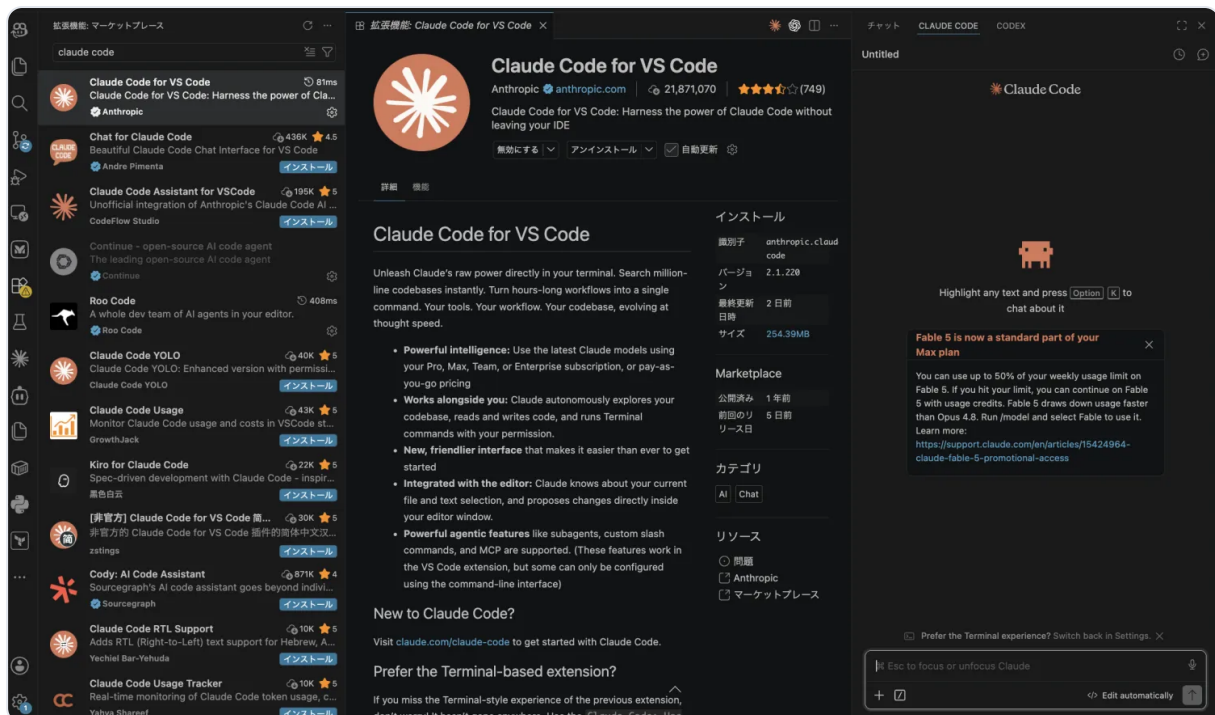


図5：拡張を導入した VSCode の画面。左が拡張機能ビュー、右側に開いているのが Claude Code のパネルです

パネルの位置は動かさず

パネルのタブをつかんでドラッグすると、右側・左側・エディタのタブとして配置を変えられます。当日はコードを見ながらやり取りするため、右側に置いたままの形をおすすめします。

アイコンが出てこないとき

VSCode のバージョンが 1.94.0 より古い可能性があります。「ヘルプ>バージョン情報」で確認してください。バージョンが足りている場合は、コマンドパレットで Developer: Reload Window を実行すると表示されることがあります。

SOURCES

Claude Code 公式: Use Claude Code in VS Code

Visual Studio Marketplace: Claude Code for VS Code

サインイン

ここが事前準備でいちばん詰まりやすい箇所です。拡張機能が入っていても、アカウントとネットワークがそろっていないと当日に動きません。

01 ログインする

STEP

初回サインイン（約5分）

1

Claude Code のパネルを開きます

SETUP 07 の入口のどれかから開きます。初めて開いたときは、ログイン方法を選ぶ画面が表示されます。

2

「Claude.ai Subscription」を選びます

会社から Team プランのアカウントが案内されている場合はこちらです。Console のアカウントを案内されている場合は「Anthropic Console」を選んでください。どちらか分からないときは、貴社の研修ご担当者にご確認ください。

3

ブラウザでログインします

既定のブラウザが開きます。会社から案内されたメールアドレスでログインしてください。組織やワークスペースの選択画面が出た場合は、会社の案内に従って選びます。

4

VSCode に戻ります

ログインが終わると VSCode のパネルが入力できる状態に変わります。パネル下部に入力欄が表示されていれば完了です。

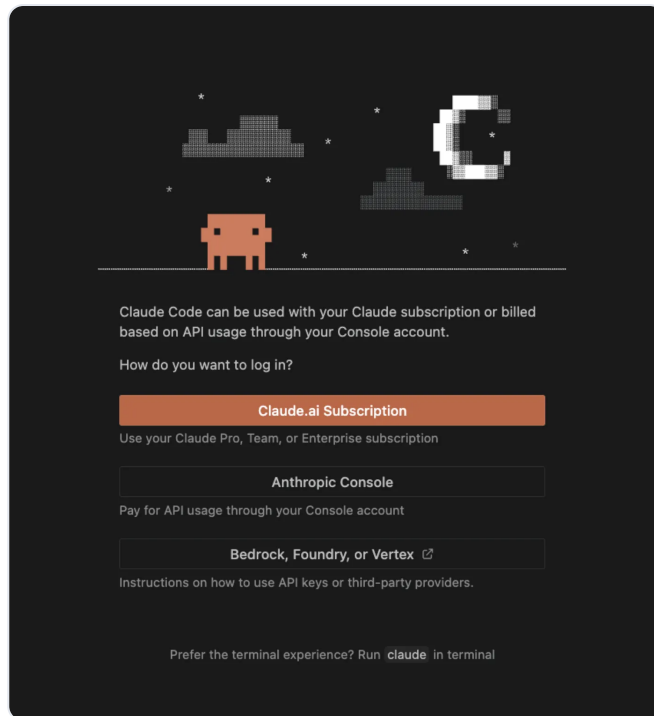


図6：初めてパネルを開いたときに表示されるログイン方法の選択画面。上の「Claude.ai Subscription」を選びます

アカウントを切り替えたいとき

すでに個人のアカウントでログイン済みの場合は、パネルの入力欄で /login と入力すると入り直せます。研修では会社から案内されたアカウントをお使いください。

02 ログインが完了しないとき

ブラウザでログインしたのに VSCode 側が変わらない、画面が戻ってこない場合は、通信が遮断されている可能性があります。ブラウザで次の3つのアドレスを順に開いてみてください。

- 🔗 <https://claude.ai> が表示される
- 🔗 <https://claude.com> が表示される
- 🔗 <https://platform.claude.com> が表示される

いずれかが開けない場合は、そのドメインが社内で遮断されています。SETUP 02 の一覧を添えて情報システム部門にご相談ください。すべて開けるのにログインが完了しない場合は、VSCode をいったん終了して開き直し、もう一度お試しください。

SOURCES

Claude Code 公式: サインインとトラブルシューティング

Claude Code 公式: ネットワーク構成と許可ドメイン

SETUP 09

演習素材を VSCode で開く

演習で使うファイル一式は、教材サイト (<https://0817cc.give-app.net>) から ZIP でダウンロードします。当日その場で展開すると時間を取られるため、事前に展開して VSCode で開けるところまで済ませてください。

01 展開して開く

STEP ZIP の展開とフォルダを開く (約5分)

1 ZIP を展開します

教材サイトからダウンロードした `nid-claudecode-handson_受講者用.zip` を右クリックし、「すべて展開」を選びます。展開先は `C:\work` のように、日本語やスペースを含まない浅い場所をおすすめします。

2 VSCode でフォルダを開きます

VSCode のメニューから「ファイル > フォルダを開く」を選び、展開してできたフォルダの中の `演習1_Lv1_集計ツール` を選んで「フォルダーの選択」を押します。研修当日は演習ごとに、その演習のフォルダを同じ手順で開き直します。ここでは1つ開いて、確認が出来ることとパネルが開くことだけ確かめてください。

3 作成者を信頼するか聞かれたら許可します

「このフォルダー内のファイルの作成者を信頼しますか?」と表示されたら、「はい、作成者を信頼します」を選んでください。信頼しない状態のままだと、Claude Code がファイルを読み書きできません。

4 中身が見えることを確認します

左側のエクスプローラーに 演習1_Lv1_集計ツール、演習2_Lv2_不具合修正、演習3_Lv3_ログ解析、予備_チケット管理 と、docs_参照元、hints、ミニ演習、templates が並んでいれば正しく展開できています。

_reference_完成形 は当日まで開かないでください

ZIP の中には答えにあたる完成形と、参考プロンプトを収めた hints が入っています。先に見てしまうと、自分で指示を組み立てて試す時間がなくなります。研修後の復習用としてお使いください。

展開先について

デスクトップやドキュメントの下でも動きますが、パスに日本語が含まれると一部のツールで問題が出る場合があります。C:\work のような場所に置いておくのが当日安心です。

動作確認

ここまでの準備がつながっているかを、実際に聞いて確かめます。返答が返ってくれば、拡張機能・サインイン・通信・演習素材のすべてが通っていることになります。準備の最終確認はこの1回で足ります。

01 フォルダの中身を聞いてみる

CHECK Claude Code に聞いてみる（約5分）

1 演習素材のフォルダを開いた状態にします

SETUP 09 で開いたフォルダをそのまま使います。別のフォルダを開いている場合は開き直してください。Claude Code は「いま VSCode で開いているフォルダ」を対象に動きます。

2 Claude Code のパネルを開きます

SETUP 07 の入口のどれかから開きます。パネルの下部に入力欄が表示されます。

3 次の文をそのまま入力して送ります

入力欄に貼り付けて を押してください。

このフォルダにどんなファイルがあるか調べて、それぞれ何をするものか日本語で説明してください

4 返答を確認します

ファイルを読む様子が表示されたあと、演習フォルダの構成が日本語で説明されれば成功です。ここまで確認できていれば、当日そのまま演習に入れます。

5 Python が使えるかも確認します

続けて次の文を送ってください。バージョンが返ってくれば SETUP 06 の準備も通っています。

このPCで Python が使えるか確認して、バージョンを教えてください

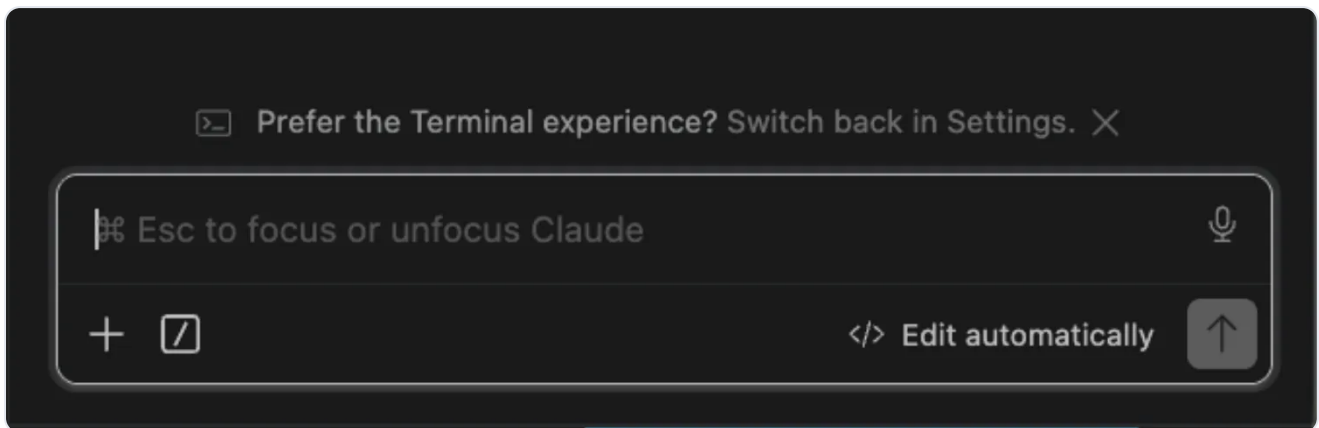


図7：Claude Code パネルの下部にある入力欄。ここに日本語で入力して送ります

操作の許可を聞かれたら

ファイルの変更やコマンドの実行など、影響のある操作の前には確認が入ります。内容を見て問題なければ許可してください。GitHub Copilot のエージェントモードで変更を差分で確認してから承認するのと同じ考え方です。当日はこの確認の扱い方も扱います。

返答が返ってこないとき

送信しても反応がない、途中で止まる場合は api.anthropic.com への通信が遮断されている可能性があります。ブラウザで <https://api.anthropic.com> を開いてみてください。エラーメッセージが表示されれば到達しています（正常な画面が出る必要はありません）。まったく反応がない場合は情報システム部門にご相談ください。

Zoom の接続確認

研修はオンラインで実施します。当日に音声の設定で時間を取られないよう、事前にテストをお願いします。当日の接続 URL は別途ご案内します。

01 テストミーティングで確かめる

CHECK Zoom のテスト（約5分）

1 テストページを開きます

ブラウザで zoom.us/test を開き、「参加」を押します。

2 音声を確認します

スピーカーとマイクのテスト画面が順に表示されます。音が聞こえること、自分の声が拾われていることを確認してください。

3 画面の配置を決めます

当日は VSCode と Zoom を行き来します。モニターが2枚ある方は Zoom と VSCode を分けておくと演習が進めやすくなります。1枚の方は、Zoom をウィンドウ表示にして端に寄せておく形をおすすめします。

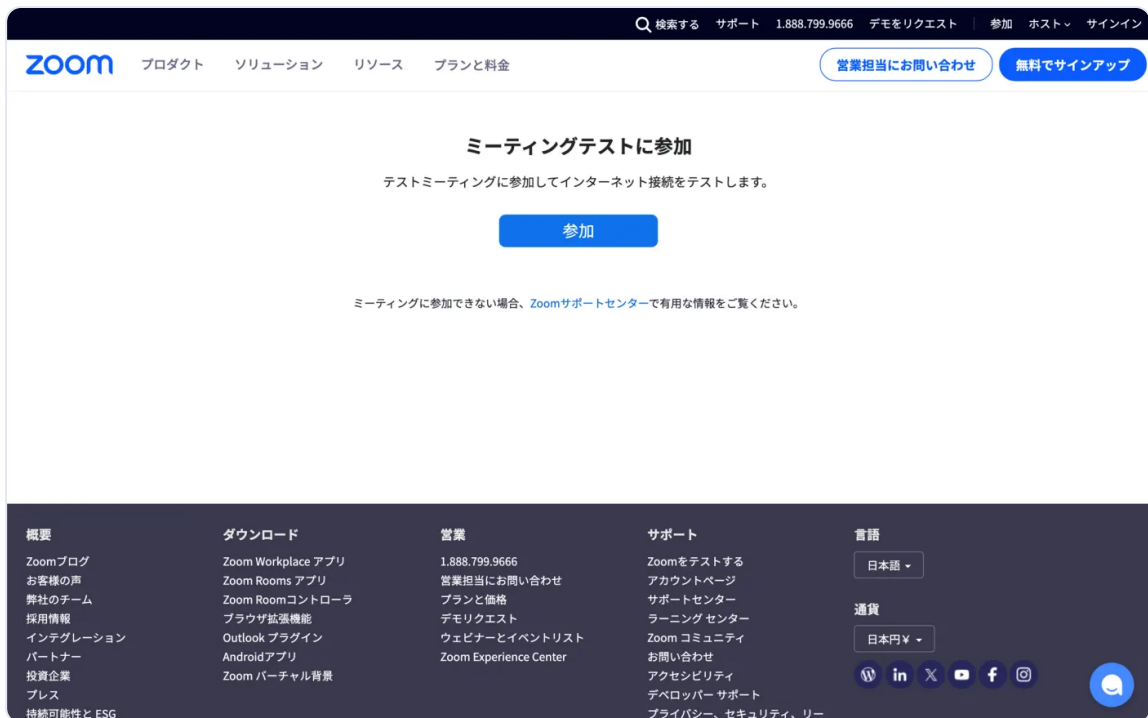


図8：Zoom のテストミーティングのページ。「参加」を押すとスピーカーとマイクのテストが始まります

マイクが使えない環境でも参加できます

質問はチャットでも音声でも受け付けます。マイクが使えない場合も受講に支障はありません。

SOURCES

[Zoom テストミーティング](#)

SETUP 12

動作確認チェックリスト

研修3日前を目安に、次の項目をひとつお確認してください。すべてに印が付けば準備完了です。1つでも詰まった場合は、SETUP 13 の対処表をご覧ください、解決しない場合は研修窓口までご連絡ください。

01 ソフトの確認

- ✔ VSCode が起動し、「ヘルプ > バージョン情報」の Version が 1.94.0 以降である
- ✔ スタートメニューで「python」を検索すると「Python 3.x」が出てくる

- ✔ 拡張機能ビューに、発行元 Anthropic の「Claude Code for VS Code」が導入済みで表示される

02 アカウントと動作の確認

- ✔ 会社から案内されたアカウントでサインインでき、パネルに入力欄が表示されている
- ✔ 演習素材のフォルダを VSCode で開き、作成者を信頼する選択を済ませた
- ✔ そのフォルダで「このフォルダにどんなファイルがあるか調べて…」と送り、日本語の説明が返ってきた
- ✔ 「このPCで Python が使えるか…」と送り、バージョンが返ってきた
- ✔ Zoom のテストミーティングで音声を確認できた

この2つが返ってくれば準備は完了です

フォルダの説明と Python のバージョン。この2つの返答が得られていれば、拡張機能・サインイン・通信・演習素材・実行環境のすべてが通っています。当日はここから演習に入ります。

SETUP 13

つまづいたときの対処と当日のご案内

よくある症状と対処をまとめました。表で解決しない場合や、社内の権限・ネットワークに関わる内容は受講者側では解決できません。研修窓口までご連絡ください。

01 よくある症状と対処

症状	考えられる原因	対処
拡張機能が検索結果に出てこない	marketplace.visualstudio.com が遮断されている	情報システム部門へ許可を依頼する。ホワイトリスト方式の場合は anthropic.claude-code を申請する
似た拡張が多くてどれか分からない	第三者製の拡張が多数公開されている	名前が「Claude Code for VS Code」で、発行元に青いチェック付きの Anthropic と表示されているものを選ぶ

症状	考えられる原因	対処
Claude Code のアイコンが 出ない	VSCode のバージョンが古い、または 再読み込みが必要	1.94.0 以降を確認する。コマンドパレ ットで Developer: Reload Window を実行 する
ログイン画面 が開かない	既定のブラウザの設定	表示された URL をコピーし、ブラウザ に貼り付けてログインする
ログインが完 了しない	claude.ai・claude.com・ platform.claude.com が遮断されてい る	ブラウザで3つのアドレスを開いてみ る。開けないものを情報システム部門へ 伝えて許可を依頼する
返答が返らな い、途中で止 まる	api.anthropic.com の遮断、またはプ ロキシ設定	ブラウザで開いて到達を確認する。プロ キシ環境では HTTPS_PROXY の設定を情報 システム部門に確認する
Python が見 つからないと 返ってくる	インストール時に PATH へ追加してい ない	SETUP 06 の手順3のチェックを入れて 入れ直す
ファイルを読 めないと言っ てくる	フォルダの作成者を信頼していない	フォルダを開き直し、「はい、作成者を 信頼します」を選ぶ

ご連絡いただくときにあると助かる情報

Windows のバージョン、どの手順で止まったか、画面に表示された文言の3点をお知らせくださ
い。文言はスクリーンショットでも構いません。この3点があると、やり取りの往復が1回で済むこ
とが多いです。

02 研修当日の流れ

- ☑ 開始15分前から接続を受け付けます。準備で不安が残っている方は、この時間にお声がけください
- ☑ 午前は Claude Code の考え方と基本操作、午後は4本の演習に取り組みます
- ☑ 60〜90分に1度、定着を兼ねた休憩を挟みます。昼休憩は60分です
- ☑ 質問はチャットでも音声でも受け付けます。演習中は個別に画面を見ながらの対応も行います

当日ご用意いただくもの

本ガイドの準備が済んだPCと、展開済みの演習素材だけです。事前学習や予習は不要です。Claude Code を触ったことがない状態からで問題ありません。

03 お問い合わせ窓口

準備でご不明な点、社内の権限やネットワークに関するご相談は、貴社の研修ご担当者経由で Givery 研修事務局までお寄せください。研修前日までにいただいたご連絡には、当日までに対応いたします。

内容	連絡先
本ガイドの手順、Claude Code の動作に関すること	Givery 研修事務局（貴社ご担当者経由）
アカウント発行、ネットワーク許可、PC の権限に関すること	貴社 情報システム部門
当日の Zoom 接続 URL、開催時間に関すること	貴社 研修ご担当者

SOURCES

[Claude Code 公式: Use Claude Code in VS Code](#)

[Claude Code 公式: インストールとログインのトラブルシューティング](#)



制作 : Givery 株式会社 / 株式会社エヌアイデイ Claude Code研修